

事業報告

平成 23 年度施設見学会の開催

平成 23 年 10 月 5 日（水）に 61 名の参加のもと、神戸出発と姫路出発の 2 台のバスにより平成 23 年度見学会を実施しました。

今回は 1 日降り続く雨の中、関西電力株式会社姫路第一発電所（姫路市飾磨区）と株式会社姫路環境開発（姫路市飾磨区）、アサヒ飲料株式会社（明石市二見町）を訪問しました。

～関西電力株式会社姫路第一発電所～

姫路第一発電所は昭和 30 年に 100%石炭を燃料とした火力発電所として誕生し、48 年に燃料を重油に変え、62 年には液化天然ガス、平成 7 年に多軸再燃型コンバインドサイクル発電システムを導入し、現在に至っています。

コンバインドサイクル発電とは、従来から用いられているガスタービン発電（液化天然ガスと圧縮した空気を混合燃焼させ、高温高压ガスをタービンの羽根に吹き付け回転させる）と蒸気タービン発電（排熱回収ボイラー内でつくられた蒸気をタービンの羽根に吹き付け回転させる）を組み合わせた発電方式です。現在運転している 2 基を併せて 144.2 万 KW の出力を持ち、約 35 万㎡の用地をまかなうことができるそうです。また、ビオトープへの取組として、シイやカブなどの植栽や蛍の放流など、地元住民との交流も大切に行っているようです。



*関西電力・正面玄関にて集合写真

～株式会社姫路環境開発～

第一工場（紙くず・木くず・廃プラ等混合廃棄物や、がれき類、汚泥、石膏ボードを処理後、再生製品へ）、木くずリサイクルセンター（チップ化し、製紙原料やボード原料、燃料として再資源化）等の廃棄物処理施設を持つ。エコレン

ガの製造工場では、がれき類やガラス陶磁器くずなどの廃棄物等を 74%原料としており、できあがった再生レンガは廃棄物をリサイクルした製品とは思えない出来栄えでした。また、CSR への取組も積極的に行っており、エコキャップ活動を通して、地域社会との交流も盛んだそうです。



*エコレンガ工場を見学中

～アサヒ飲料株式会社～

日本最大級の飲料製造工場であるアサヒ飲料・明石工場では、主力製品である三ツ矢サイダーやバヤリース、十六茶等の製造を行っています。工程見学の傍ら、環境活動 3R への取組みを伺いました。こちらの工場では、製造工程からでる茶かすやコーヒーかすを発酵させ発生したメタンガスを再利用したり、従来品より約 20%樹脂量を減らしたペットボトルを生産したり、自社の制服を作る際、ペットボトルのリサイクル繊維を使用したりと多岐にわたった取組を行っています。また、三ツ矢サイダーの起源（明治 17 年）など、ロングラン製品の歴史の深さにも驚かされました。



*ゲストホールにて製品の説明を受ける